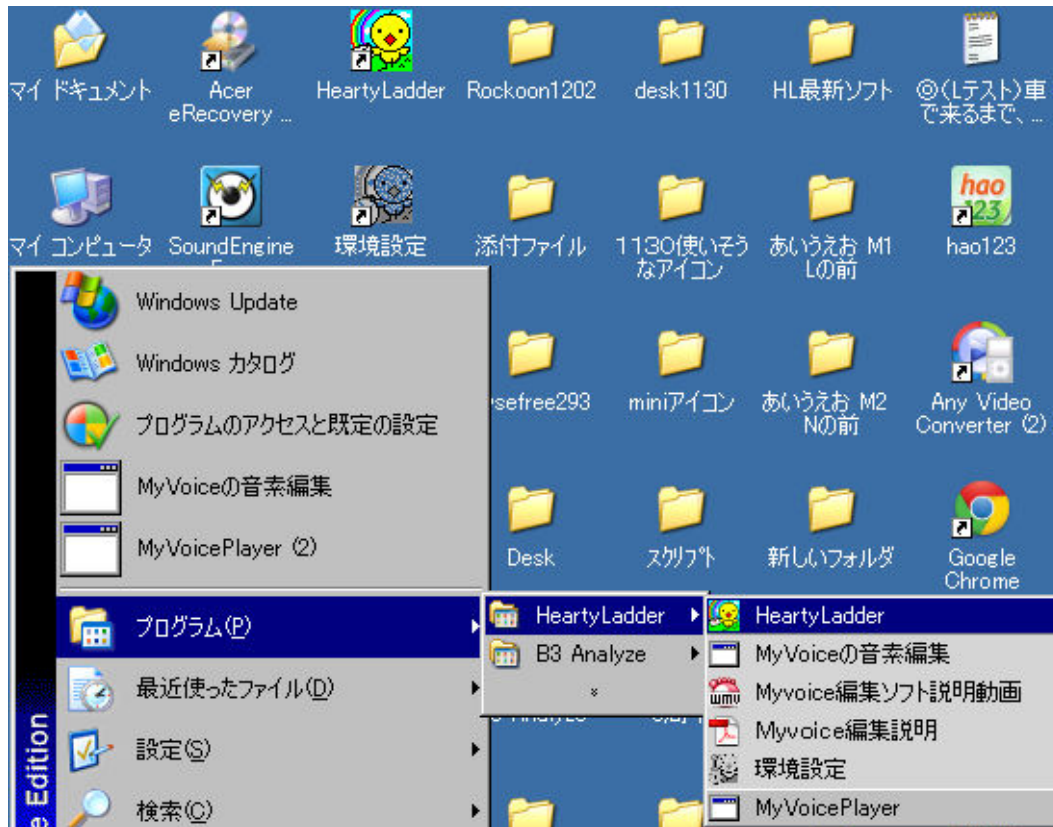
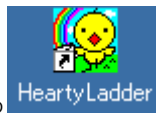


「HeartyLadderでのマイボイス再生」

HeartyLadder を起動します。



プログラムから起動しなくても、HeartyLadder をインストールするとデスクトップにでき



る HeartyLadder をクリックします。すると次のような画面になります。



**このように、この画面に文字を入力して「行読」をクリックすると、
マイボイスで読み上げます。**

なお、行読の下にある「全読」をマウスでクリックするとコンピューターの音声で読み上げます（マウスモード）。

HeartyLadder については、HeartyLadder のホームページからマニュアルをダウンロードして環境設定などをよく読んでください。

この CD にある
基本操作マニュアル hl_manual をよくお読みください。

スイッチで使用する場合は、環境設定マニュアル set_manual をよくご参照になり、とりあえず、マウスのクリックをスイッチにして動きを確認した後、ジョイパッドを改造してスイッチをつなげられるようにし（改造が困難な場合は、環境設定マニュアルのなか5ページある案内に従って改造見本品を入手してください。そして、患者さんのスイッチをつないで、環境設定マニュアルの7ページ以降の共通項目の設定の例に従い、モードの下を、「ジョイスティックボタン」に変更する等などして、1ボタンモードをお試しください。

- 文字入力に外付けスイッチを使ってオートスキャンを利用できるため、キーボードが使いにくい方でも文章がつくりやすいです。
- HeartyLadder は非常に細かい設定ができます。マニュアルだけでなく、ホームページの BBSなどを参照してより使いやすい設定をみつけてください。使いにくい状態で使い続けられないことが大切です。

マイボイスの「あ」「い」「う」と「単文（「ありがとう」）での音声再生

（単文登録の仕方と一部重複）

マイボイスは、「あ」「い」「う」…という声の組み合わせで、新しい文を読ませます。

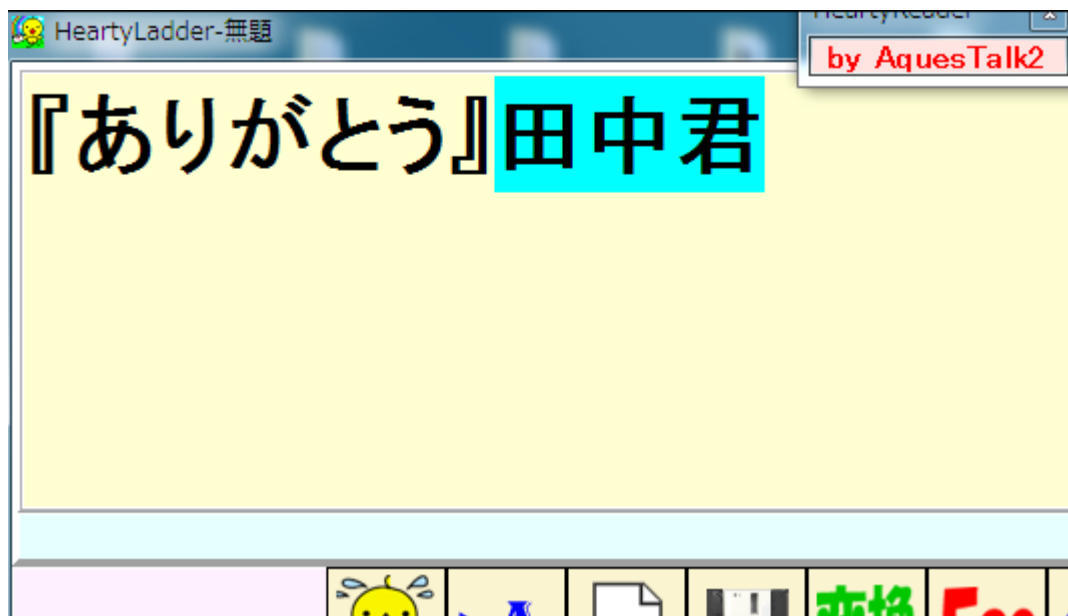
一方、「こんにちは」「ありがとう」などの単語単位で録音したものは、そのファイルがそのまま使われます。

そこで、単語や短い文（両方をあわせて以下「単文」と記します）単位で録音しておく、それがそのまま使われますので、単語や文の、まとまった強弱やイントネーションも表現できます。

例)「あ」「い」「う」で作る「あ」「り」「が」「と」「う」は、やや単調な読みあげ
「ありがとう」の音声ファイルがあれば、そのまま「ありがとう」を再生します。

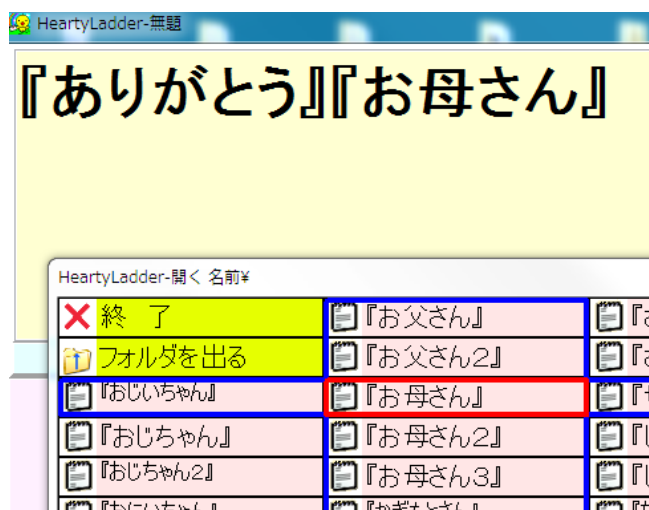
この「ありがとう」ファイルは、「ありがとう」という単語で録音したものをそのまま再生します。

ハーティラダーでは以下ようになります。



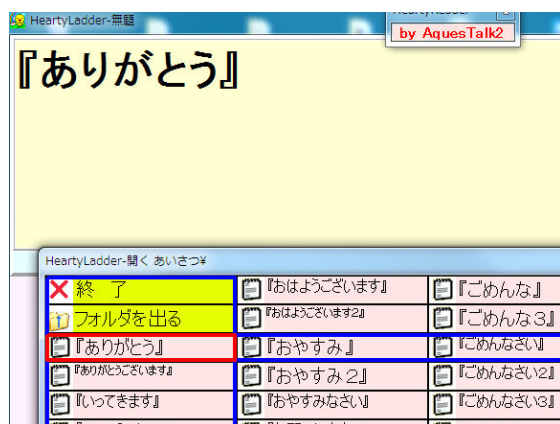
読み上げ：「ありがとう」＋「た」「な」「か」「く」「ん」

もし、「お母さん」という単語録音があれば



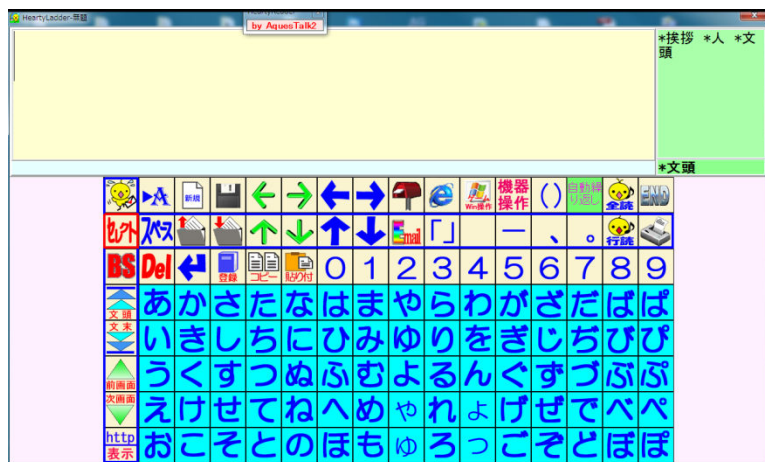
読み上げ：「ありがとう」＋「お母さん」 となります。

また、「ありがとう」も、「あ」→「り」→「か」→「」→「と」→「う」と一字一字ずつ入力しなくても、

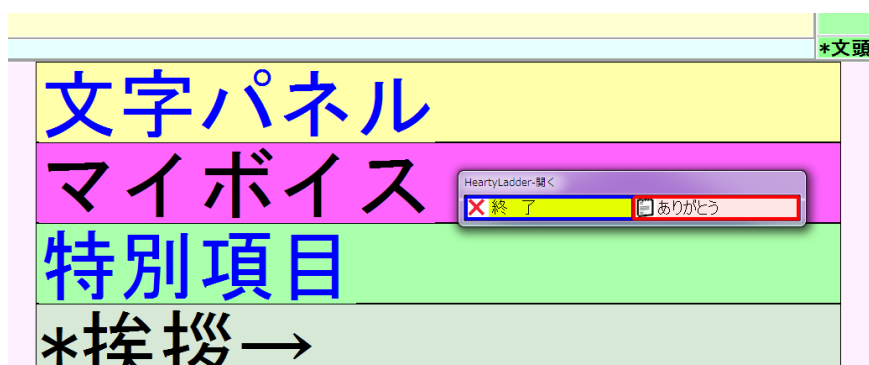
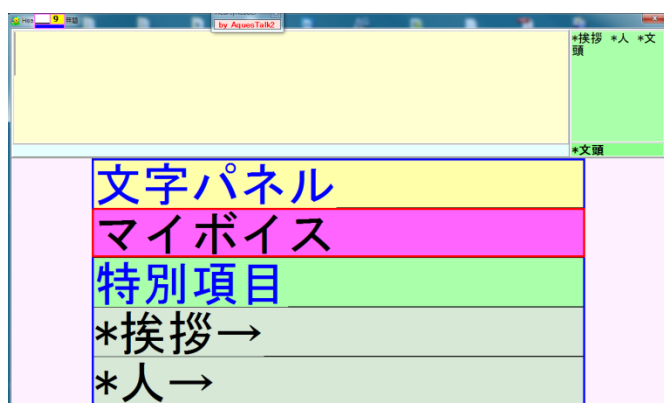


直接一覧から「ありがとう」を選んで入力することができます。

そのための手順をはじめからお示しすると

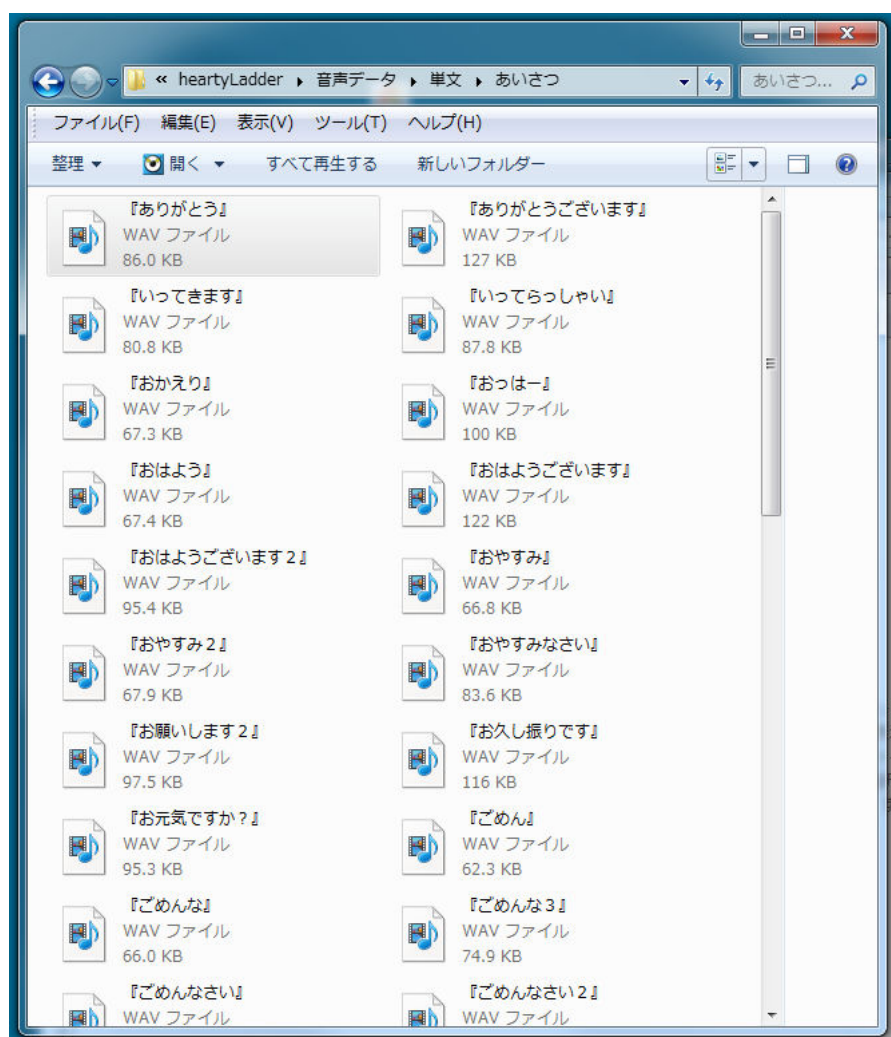


まず「セレクト」を選びます。



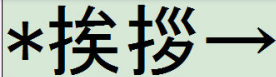
ピンクのマイボイスを選ぶと「ありがとう」の一覧が出てきます。

もし、「ありがとう」以外に、たくさんの単文音声ファイルがあれば



こんな感じに入っているとして

「ありがとう」の他にも単文がたくさんあるとこうなります。(選びやすい)



* 人 →

終了	恐れ	口癖	数字	怒り	名前
あいざつ	驚き	女性的表現	生声比較	日常会話	
愛情表現	嫌悪	笑い声 その他	単語	悲しみ	
喜び	呼びかけ	身体	電話	返事	

文字パネル



特別項目

「ありがとう」「お母さん」「か」「れ」「ー」「ら」「い」「す」「うわめっっちゃ嬉しい」
単文を録音していない場合は、単語単位での再生はございません。

文字を入力したものが、すべて「あ」「い」「う」で読み上げられます。